

ユネスコによって採択された「世界の文化遺産および自然遺産の保護に関する条約」がある。人類共通のかけがえのない宝である文化や自然を、国際的に保護して行こうという取り決めだ。スリランカにはこの世界遺産に登録されている文化遺産と自然遺産が計8箇所ある。

#### 世界遺産(6箇所、数字は登録年)

1. 聖地アヌラダプーラ(1982)
2. 古代都市ポロンナルワ(1982)
3. 古代都市シーギリヤ(1982)
4. ダンブッラの黄金寺院(1991)
5. 聖地キャンディ(1988)
6. ゴール旧市街とその要塞群(1988)

#### 自然遺産(2箇所)

1. シンハラージャ森林保護区(1988)
2. スリランカ中央高地(2010)

北海道より少し小さな島国にこれだけの世界遺産が集中して存在しているのは、正に驚きである。恐らくこれだけ集中している国は他にあまり例がないものと思う(他には、マカオが東京都港区程のところに22の歴史的建造物と8つの広場を含む地域が「マカオ歴史的市街地区」として登録されているが)。これまで私はスリランカの世界遺産はすべて訪ねているが、シーギリヤやキャンディにはもう4回以上は出かけている。ゴールに至っては恐らく6回は出かけていることと思う。そこで、今回はそのゴール旧市街地を取り上げてみたい。ゴールは私の好きなところで、他の都市とはかなり雰囲気が異なり、かつての植民都市とでも言ってもよさそうな街の佇まいが気に入っている。今回の内容は今年6月に訪ねた記録を基にしている。

ゴールはコロンボから南へ列車で約4時間、インターシティバスで(高速道路を利用して)1時間半ほどかかる。行きは鉄道を利用した。スリランカの鉄道には1等車、2等車、3等車があるが、今回は2等車を選んだ。この列車には1等車は連結されていなかったが、スリランカではよくあることで、ローカル電車には連結されていないことが多い。インド洋

側の座席を選んだので、インド洋を見ながらの旅を満喫できた。

ゴールに着いてすぐトゥクトゥク(4輪タクシー)で旧市街地に向かい、予約していたゲストハウスに2泊投宿した。Ocean View Guest House という名前の通り、まさにインド洋を目の前に眺められる小さなゲストハウスである。旧市街地(フォート)内には素晴らしいホテルがいくつもあるが、どこも外国人観光客向けの、かなり高いホテルばかりなので今回は一人でもあり、安めの宿泊施設を選んでみた。

荷物を部屋に置き、早速外に出てみた。時間は夕方5時を過ぎていたので、大分涼しくなり、ちょうど散歩でもするにはよい頃合いで、城壁のある海沿いの道は地元の人のみならず、多くの観光客で賑わっていた。散歩していて驚いたのは、小中学生の団体がたくさん訪れていて、彼らの姿を見ていると、ここはスリランカの学校では修学旅行の見学地の一つになっているのかと思い至った。6時を過ぎると、真赤な太陽がインド洋のかなたに沈んでゆき、それを見ようと大勢の人が海岸で待ち構えていた。正に雄大な風景である。中には結婚記念写真を撮るカップルもいた。どんな写真が撮れただろうか。

翌日は朝食前に少し散歩してみた。まず、フォートと言えば、どんな観光案内にも載っている灯台とモスクの2箇所を訪ねてみたが、私が10数年前に初めて来た時と何ら変わらずにその優美な姿を見せていた。灯台は17世紀の半ばにポルトガル人が建立し、オランダ人やイギリス人に引き継がれていった。モスクはもともとキリスト教会で、1904年に作り変えたそうである。フォートはイスラム系の人が多く住んでいて、モスクをはじめアラビア語学校などが目に付くところである。町全体がイスラムの香りに満ちている。窓から顔を出している人々も道をゆく人々も遊んでいる子供たちも皆モスラムで、ここはスリランカなのかと一瞬疑うほどである。

一方、ここにはキリスト教会が4つもある。カトリック教会をはじめとして、英国国教会、オランダ

改革派教会、メソジスト教会とそれぞれの植民地時代を代表するような教会が存在する。もちろん今でもそれぞれの信仰は守られており、日曜日になれば礼拝があり、多くの人々が集まってくる。私も日曜日のある朝ぶらりとこれらの教会を訪ねてみた。参加者は決して多いほどではないが、バーガーと言われる人々(旧植民者とスリランカ人の混血)を始めとして、シンハラ人やタミル人などの姿が見えた。

ゴールには4泊したが、朝から夕方までひたすら歩き回った。ケラニヤ大学の学生たちが近くバス旅行を計画しているので、ゴールはいいところなので

ここはお勧めだと言ったところ、幹事の一人に「ゴールは古いものばかりで、あまり見るべきものがないのではないですか」と言われてしまい、大変驚いた。確かにそんなに見るべきものはないが、スリランカの他の都市にはない雰囲気を持つところなので、魅力的なところだと思っていた。しかし、スリランカ人にはそんなに興味を感じるころではないのかもしれない。幹事の話ではシーギリヤを検討中とのことである。そういえば、フォート内で見かけるスリランカ人観光客は少なかったような気がする。外国人観光客が目についたのが妙に印象に残っている。



## ゴールの旧市街で見つけた風景

1. フォートの街並み
2. 夕日に浮かぶ灯台とモスク
3. 教会と時計台
4. 今も残る英国王室の紋章

